

課題整理総括表

利用者名 殿 作成日 / / 氏名:

Main table with columns: 自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等), ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥. Rows include categories like 移動, 食事, 排泄, 口腔, 服薬, 入浴, 更衣, 掃除, 洗濯, 整理・物品の管理, 金銭管理, 買物, コミュニケーション能力, 認知, 社会との関わり, 褥瘡・皮膚の問題, 行動・心理症状(BPSD), 介護力(家族関係含む), 居住環境.

Table with columns: 利用者及び家族の生活に対する意向, 見通し ※5, 生活全般の解決すべき課題(ニーズ)【案】 ※6.

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。
※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。